

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

●発行 / 社会福祉法人 神戸市長田区社会福祉協議会 ☎078-511-4277(代) FAX078-574-2427
●〒653-0016 神戸市長田区北町 3-4-3 長田区総合庁舎内 4F
●ホームページ <http://www.nagatavc.org/> E-mail : n-syakyou@neo.famille.ne.jp

それ
いけ

ほがた

No.30
平成 27 年 4 月号

20
1994-2014
1.17
KOBE

細田児童館 震災20年事業

みんなで避難所体験!

カツオの油づけ缶詰に
ティッシュペーパーをつけて
3つぞくにしました。



平成27年1月17日… あの阪神淡路大震災から20年たちました。当児童館の周辺は被害が多い地域でしたが近年は震災を知らない世代が増えました。

震災を語り伝えることが重要になってきたと感じ、1月17日(土)に「みんなで避難所体験!」と題し、「炊き出し体験」「ダンボールで避難所づくり」「地域の方の体験のおはなし」の3部構成で震災行事を実施しました。

当日は幼児から大人までたくさんの参加があり、炊き出し体験・避難所作りなど楽しい

雰囲気体験しました。その後、体験のおはなしでは紙芝居や画像を見ながらのおはなしに大人も子どもも真剣に耳を傾け地震の怖さを感じていました。

最後に地域の方から災害時にすべきこととお話いただき、命の大切さを心にとどめました。



手話講習会
入門課程より

聴覚障がいのある方の生活 ～震災20年を振り返って～

手話講習会入門課程で特定非営利活動法人 神戸ろうあ協会 前会長 廣瀬 信也氏をお招きし、震災20年特別講演会を開催しました。

「あの時、聴覚障がいのある人達はどんなことに困ったのだろうか?」その教訓をこれからに生かすため、私たちに出来ることを考えました。

例えば、震災直後、近隣の人が小学校に行くのが見えたが、避難情報を「聞く」ことが出来なかったため、みんなが移動している意味がわからず、後で小学校でお弁当を配っていることを知ったそうです。

口話やジェスチャーでは聴覚障がいのある人には情報が伝わりきらない部分があり、手話は情報を得る大切なものであり、「命」だと思っている、というお話が印象的でした。

このように聴覚障がいのある人は、耳が聞こえないことにより情報がすぐに入って来ないという情報保障の問題があります。

実際に災害が起こったとき、手話通訳者が来るまでには1週間以上かかるかもしれません。

そのとき、周りの人の配慮があれば、どれほど気持ちが楽になるでしょう。

災害時だけでなく日常生活の中でも、ちょっとしたお手伝いが出来ればと思います。



みんなの福祉講演会



もうすぐ震災から20年を迎える平成26年11月29日、今年で3回目となる「みんなの福祉講演会」が県立文化体育館小ホールで開催されました。毎年、芸能を通じて楽しく福祉のお話が聞けると好評です。今年のテーマは震災20年を振り返り、「地域の子育て」に決定しました。当日は地元の芸術家で『だるま森+えりこ』さんの舞台と講演が行われ、地域での子育ての大切さを学ぶ良い機会となりました。

長田ボランティアセンターだより

子どもいちば

室内小学校・長田小学校・宮川小学校の子どもたちが長田橋の上で「子どもいちば」を開催しました。

子どもたちが3～5名のグループに別れて、障害をもつ方々が働く作業所を訪れ一日ボランティア体験でものづくりを学び、自分達で作った商品と作業所の商品を長田橋の上で販売しました。

子どもたちがそれぞれお店の店員になってお店の飾りつけをしたり、接客をしたり、お金の計算をしました。「いらっしゃいませ！」



と元気な声が響き渡り、たくさんの商品が売れました。これからも「子どもいちば」開催の折は、是非お立ち寄りください。



サンタがうちにもやってくる

12月24日クリスマスイブの夜に、サンタに扮した「サンタ団」が長田区内の子ども達の家へプレゼントをお届けしました。

「サンタ団」とは、16歳～30歳の男女からなる若手ボランティアグループです。若いボランティアたちが子どもたちを笑顔にするためにイブの晩に長田区内20軒のお宅を訪問しました。突然のサンタの訪問に子どもたちは、びっくり！プレゼントを受け取って、サンタと交流しとても喜んでくれました。

サンタ団はこのイベントだけでなく、長田夏越ゆかた祭などの地域イベントに協力したり、被災地への災害ボランティアにも参加しています。

サンタ団の活動に興味のある方は、長田ボランティアセンター（078-574-2408）までご連絡ください。



1.17KOBEに灯りをinながた

阪神淡路大震災から20年となる今年の1月17日(土)に、新長田駅前広場で、17回目の「1.17KOBEに灯りをinながた」が開催されました。



この行事は、阪神大震災で亡くなられた方への供養や思い出を振り返り、復興への願いをこめて大勢の方がろうそくに灯りをともす追悼行事です。

このろうそくも地域の保育園・小学校・中学校の子どもたちが協力して作ってくれました。

今年は、高校生や大学生など若者たちを中心に挨拶や黙祷の号令を行いました。若い世代が追悼の行事に主体的に係わることによって、震災の記憶と教訓の継承に繋がっていくことを期待します。ろうそくの灯りを灯しに来場いただいた方々、当日ボランティアとしてご協力いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



認知症学習出前授業を行いました!

長田区社会福祉協議会では、次世代を担う子どもたちに、「認知症」について知ってもらう機会をつくる取り組みを行っています。その一環として、平成27年2月12日(木)、池田小学校3年生の児童の皆さんに、「認知症学習出前授業」を受講していただきました。授業では、区内あんしんすこやかセンターの見守り推進員やボランティアなどで構成されたチーム「オレンジふうせん」が、紙芝居「おばあちゃんのえがお」を上演。その後、紙芝居の内容を振り返るワークショップを行うことで、認知症という病気のことや、認知症の方との接し方、優しさや思いやりについての理解を深めました。



授業終了後の子どもたちの感想には、「認知症がどういうものか知らなかったけど、わかってよかった」「お年寄りに優しくしたい」など、たくさんの温かい思いがつつられていました。今後もこの取り組みを通じて、「安心して生活できる地域づくり」に貢献したいと考えています。真剣に授業を受けてくれた池田小学校の皆さん、ご協力いただいた方々、ありがとうございました。



さがせ！ちりモン！！



「地域で子育て元気アップ事業」に長楽児童館は取り組みました。小学校PTA会長のお父さん、すこやかクラブOBのお母さん、主任児童委員さんに実行委員として協力いただきました。長楽・駒ヶ林のまちを子ども達に伝えたい！ 地域の子ども・親子に楽しんでほしい！ の思いを込めてちりめんじゃこに混ざっているエビやタコなどの稚魚(モンスター)を探す「さがせ！ちりモン！！」とちりめんじゃこを使ったお好み焼きクッキングに挑戦しました。



11月30日(日) 大漁旗のもと、まずはお魚博士による長田港や漁のお話を聞いた後、いよいよちりモン探しです。参加した幼児達も真剣なまなざしでちりモンと格闘、付き添いのお母さんも夢中で探しました。小学生たちは見つけた謎の生き物の正体を知りたくて何度も博士に質問しました。時間の終了を告げると「もっと探したい!!」との声上がるほど、みんなすごい集中力でした。ちりモン探しの後は、地域の皆さんが準備して下さったちりめんじゃこのお好み焼きです。何枚もおかわりをする子、自分で焼きたい子、各々お好み焼きを堪能しました。「さがせ！ちりモン！！」を通して、目・触感・食で楽しくお魚と触れ合い、スタッフと参加者として駒ヶ林地域に住む者同士の触れ合いが出来ました。



取り組み後、ひとつの行事を協力してやり遂げた実行委員さんは子育て支援仲間になりました。長楽児童館ではこれからも「地域で子育て」に地域の子育て支援仲間と一緒に力を合わせたいと思います。



ルームの活動 あれこれ



長田区にはあんしんすこやかセンターの出張所の役割をする「あんしんすこやかルーム」が5か所あります。ルームを中心とした活動の一部をご紹介します。

「めぐみあんしんすこやかルーム」がある房王寺住宅8号棟集会所では、4ヶ月に一度「なぐラッコクラブ交流会」を行っています。0歳から1歳児の子育てサークル「名倉っ子クラブ」の方々と、子育てを卒業された先輩高齢者との3世代交流です。毎回、20名程参加されています。

音楽遊びや紙芝居、季節の歌を歌ったり等行っています。昨年の大学生の人形劇ボランティア訪問時は、4世代交流となりました。お母さん方は、高齢者の方にトリのモビール等の手作りのプレゼントをされています。

2年前から始まりましたが、最初緊張されていた表情であったお母さん方も今では、子育ての悩みを高齢者の方に尋ねたりされています。お一人暮らしの高齢者の方は、家で笑うことがなく、交流の場で笑うことができよかったと言われています。次回は皆さんでお茶会を行う予定です。

これからも、地域の高齢者の方達が笑顔になれる活動に取り組みで行きたいと思います。



1人で心細いな…
お話し相手が欲しいな…



こんにちは！
声のお届けボランティアです。

長田区内在住で65歳以上のお一人暮らし、または75歳以上の老々世帯などの方で、「心細いな」「お話し相手が欲しいな」とお思いの方のご自宅に、声のお届けボランティアがお電話を差し上げます。

日々の暮らしの中で起こった出来事や、不安に思っていること等、どんなことでも構いません。週に1度決まった曜日にお電話でお話しませんか？

ご興味のある方はお気軽に「長田区社会福祉協議会」へお問い合わせください。



お電話を差し上げる時間
毎週火曜・木曜
13時～15時の間の15分程度

【お問い合わせ・お申込み】
長田区社会福祉協議会
テレフォンサポート担当
TEL: (078) 579-2311
長田区役所4階 内線439





平成26年度共同募金・歳末たすけあい募金報告



昨年10月から年末にかけて行った、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金は、おかげさまで10,072,746円の募金が集まりました。

ご寄付をいただきました方々や募金活動にご協力いただきました婦人会・自治会・民生委員児童委員・子ども会・少年団野球リーグ・学生ボランティアのみなさまにお礼申し上げます。

童委員・子ども会・少年団野球リーグ・学生ボランティアのみなさまにお礼申し上げます。



平成26年度 募金内訳別結果

	目標額	実績額
赤い羽根共同募金	6,433,000円	5,671,809円
歳末たすけあい募金	4,800,000円	4,400,937円
合計	11,233,000円	10,072,746円



じぶんの町を よくするしくみ。

ありがとうメッセージ～赤い羽根共同募金から～

車椅子利用などのため、外出することが大好きでも一人での外出がなかなか出来ません。

今回の共同募金助成金で安心して乗れるリフト付きバスを借り上げ、海遊館へ行くことが出来ました。普段会えない人たちと一緒に、楽しく過ごすことが出来ました。どうもありがとうございました。



(神戸市重度心身障害児(者)父母の会長田支部)

成年後見制度・事前相談室のご案内

成年後見制度についての疑問にお答えする相談窓口を開設しています。

- 相談例
- ・成年後見ってどんな制度？
 - ・どんな人が利用できるの？
 - ・利用を始めるには何をしたらいい？ など



(相談員) 市民後見人候補者(神戸市が実施する「市民後見人養成研修」修了者)

相談無料 秘密は厳守いたします。

- 毎月第4金曜日 13:30～15:30(先着順・事前予約不要)
- 長田区役所3階 長田区役所行政相談室
- ◆ 相談受付・お問い合わせは
長田区役所4階 長田区社会福祉協議会まで



善意の輪 数珠つなぎ

本当に早いんですね。阪神・淡路大震災から20年が過ぎてしまいました。

私事では、就寝中に起こり、家屋が潰れたのでないかと目覚め、親の安否を気遣い、職場での救援物資の受付、避難所での宿泊を伴う市民の皆様の見守りなどが昨日のように思い出されます。

特に被害が大きかった長田区では、区民の方々は、ご苦労は筆舌に尽くしがたいと思います。

その長田区でも皆様が震災の犠牲者を悼む「1.17KOBEに灯りをinながた」1999年から毎年1月17日、新長田駅前広場で、地元有志の実行委員会が開催を続けてこられました。長田社会福祉協議会にある、長田区ボランティアセンターもこの実行委員会の皆様と一緒にやってまいりました。

準備はろうそく作りなどほとんど手作りで、ボランティアの力を結集し、今年は、震災から20年、これまでの歩みを被災地・交流コーナーで写真スライドにて放映しました。特に、大学生、高校生など若者たちが挨拶や黙祷の号令を行いました。また彼ら若い人たちの募金活動のおかげもあり、過去最高額の募金が集まりました。

長田区は市内でも高齢化率トップであり、高齢者の見守り、まちの活性化にこのような若い人の力を活かしていくことが喫緊の課題と思います。

介護保険制度の改正、自立支援制度の開始、など新しい事業が始まる新年度に向けて、長田社会福祉協議会も含め、長田区として取り組むきっかけづくりを皆さんと一緒に考えていきたいですね。ぜひ皆様のご意見をお寄せください。お願いいたします。

長田区善意銀行にご寄付をいただきました

ありがとうございました

(平成26年10月～平成27年2月)

神戸市少年団野球リーグ長田地区委員会、岡本富美子、小規模多機能かけはし、有限会社 宮前写真場、長田神社、中川衣裳店、兵庫弥生美容室、(株)mi-kittyミキティ介護事業所、神戸市立おもいけ園、神戸野田高等学校、(株)マルハン、神戸村野工業高等学校、日本ケミカルシューズ工業組合青年部会、西神戸モラロジー事務所、中東美代子、新長田北安心安全の防災福祉コミュニティ蓮池自治連合会ブロック・西、久保町1丁目自治会、大谷町3丁目北部自治会、辛島茂子、大谷公園管理運営会、丸山地区住民自治協議会、長田婦人会、丸山平成会、水笠通4丁目自治会、長田コープ委員会、六番町3丁目自治会、でんきのマツナガ 松永和雄、名倉少年野球団、2.1まちづくり自治会 三川弘士、長楽ふれあいのまちづくり協議会、青少協室内支部、野田北部自治連合会、長田高校PTA会長 山口隆英、介護老人保健施設サニーヒル、番町地区ふれあいのまちづくり協議会、五大物産(株)蒲地隆司、神戸常盤大学、真野ふれあいのまちづくり協議会、片山町1・2丁目自治会、三和エンジニアリング(株)、匿名

(順不同、敬称略)

皆さまの温かい善意に感謝いたします。

編集後記

三寒四温を繰り返しながら、ようやく春めいてきました。今年の桜の開花予想は平年並みだそうです。

阪神・淡路大震災から20年。以来、災害に対する人々の意識は大きく変わり、ボランティア活動をされる方が増えました。災害ボランティアというと、少し敷居が高い気がしますが、日常のちょっとした気づきや思いやりがその第1歩。皆それぞれが人のことを思い、自分の出来る事を行動に移す。それが習慣、当たり前になれば、よりよい街、社会になるのではないかと思います。

